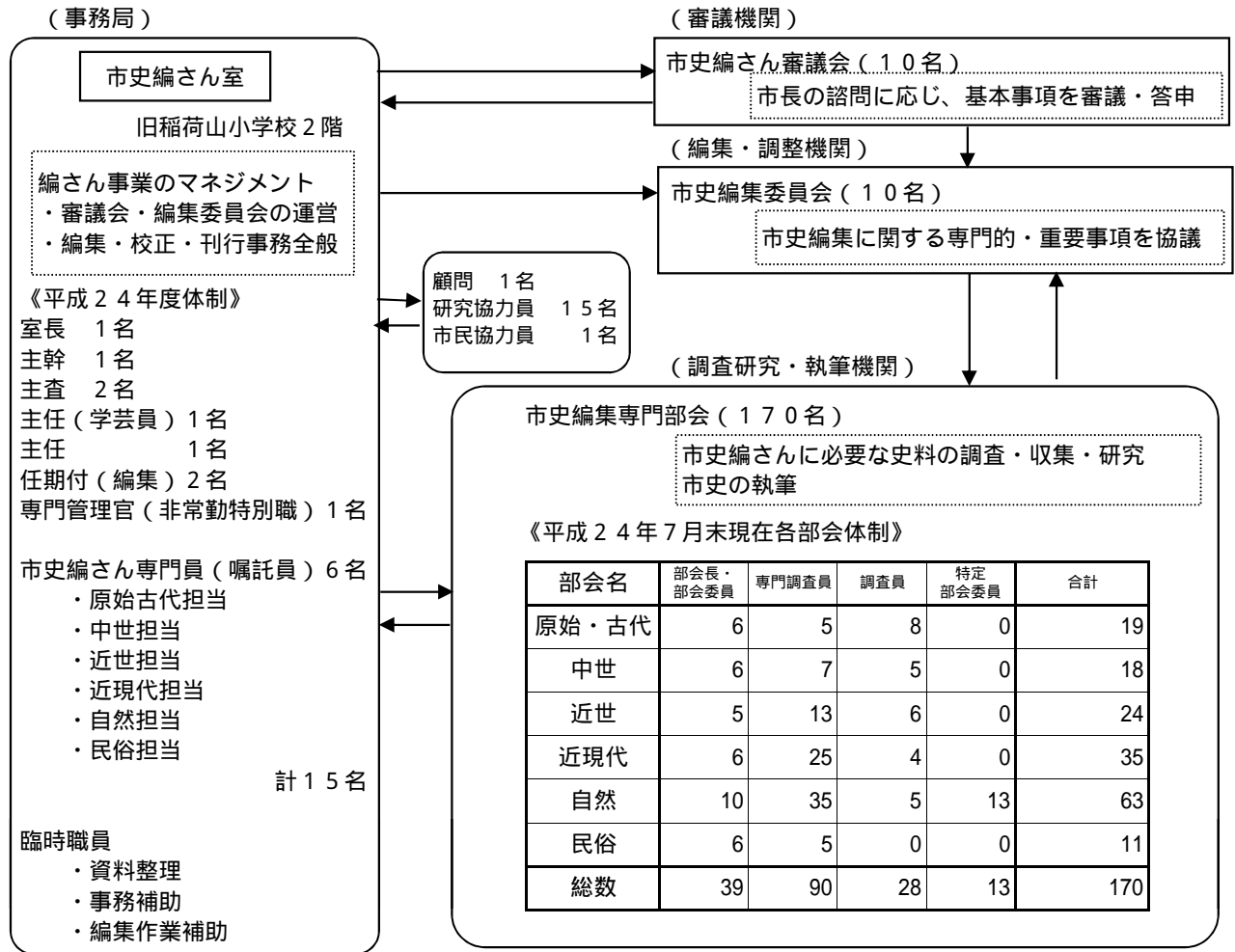


平成24年度 市史編さん事業の組織体制（平成24年7月現在）



市史編さん室職員

室長	木内 基容子	
主幹	齋藤 和仁	4月1日付転入
専門管理官	佐藤 広	
主査	長谷部 晃一	
	秋山 和英	4月1日付増員転入
主任	尾崎 佐智子	4月13日付転入
	学芸員 渡部 恵一	
編集担当	松田 明彦	
	塚原 裕子	4月1日付採用
市史編さん専門員	原始・古代担当	馬場 有美
	中世担当	柳澤 誠
	近世担当	大木 悠佑
	近現代担当	宮崎 翔一
	自然担当	佐藤 千枝
	民俗担当	春日 祐美

【参考】

- 3月31日付定年退職  
福田 美和子主任  
(4月1日付で宮上中学校へ)
- 4月1日付転出  
新井 雅人主幹  
(教育委員会へ出向  
生涯学習スポーツ部学習支援課長に)

市史刊行物の販売状況（平成24年7月末日現在）

販売場所 書名	印刷部数	市 政 資 料 室	南口総合 事 務 所	郷 土 資 料 館	編さん室	編さん室 (郵送分)	恩 方 事 務 所	いちよう 塾	市長と 語 る	有 償 計	無償配付	総 計	残部数
市史研究 創刊号 (H23.4.27)	2,000	96	111	99	142	126	—	7	—	581	1,064	1,645	355
市史研究 第2号 (H24.4.20)	2,000	32	38	52	16	2	—	9	—	149	898	1,047	953
村明細帳 集 成 (H24.3.12)	1,200	41	—	39	14	0	—	1	—	95	501	596	604
恩方の民俗 (H24.6.1)	2,000	53	57	84	28	5	31	31	9	298	502	800	1,200
資料編5 近現代1 (H24.6.15)	1,500	25	29	34	16	2	—	—	4	110	874	984	516

書名欄の（）内は販売開始日

恩方事務所では「恩方の民俗」のみを販売

「いちよう塾」と「市長と語る」は出張販売

市史関連有償刊行物の無償配付先一覧

配付順	区分	配付先	配付先備考
1	直接関係者	0 室長・主幹・専門管理官・担当職員・専門員	
		1 執筆者(本人用)	
		2 執筆者(謹呈用)	
		3 調査機関・協力者	
2	市史編さん関係者	4 編さん室職員(上記0を除く)	
		5 審議会委員・編集委員会委員	
		6 専門部会委員(執筆者を除く)	部会長は上記5で配付
		7 専門部会専門調査員・調査員(執筆者を除く)	刊行物と関係する部会に配付
		8 顧問・研究協力員・市民協力員	
		9 臨時職員	古文書整理業務等に活用できる場合に配付
		10 異動者・退職者等	編集に関わった職員に配付
		11 文化財課(郷土資料館)職員	
		12 史料所在調査従事ボランティア	近世に関係するものを配付
		13 調査協力者、関係者等	市史研究は、これまでの協力者・関係者に広く配付
3	庁内	14 理事者・教育長・教育委員・代表監査委員	
		15 市議会議員	
		16 文化財保護審議会委員(市史関係者を除く)	
		17 生涯学習審議会委員	市史研究を配付
		18 博物館協議会委員	市史研究を配付
		19 部長職	本編(資料編・記述編)は部用として、その他は適宜判断
		20 各課	市史研究のみ配付
		21 市立小・中学校、教育センター	各校1、高尾山学園は小・中で1、教育センター用2
		22 庁内所管・教員等	庁内所管や教員から、事業や教材等の利用目的をもって配付申請があったとき
		4	閲覧用
24 議会図書室	閲覧必要部数を配付		
25 市政資料室	閲覧必要部数を配付		
26 地区図書室	閲覧必要部数を配付		
27 郷土資料館	閲覧必要部数を配付		
28 その他市施設	配付先は下記参照		
5	プレス	29 記者クラブ・市政記者会	パブリシティ時に配付。部数は広報担当と調整
6	外部関係機関	30 国立国会図書館	各3冊納本
		31 全史料協会	
		32 都内・近郊歴史系博物館・資料館	関係する分野のものを配付
		33 都内・近郊自然系博物館・資料館	関係する分野のものを配付
		34 都内・近郊美術系博物館・資料館	関係する分野のものを配付
		35 各自治体史担当所管等	
		36 都内公立図書館	都立中央1、区市町村立中央館各1
		37 市内大学・高校	
		38 近郊大学日本史研究室	
		39 姉妹都市等	苫小牧市、日光市、白糠町
7	市政関係者	40 海外友好交流都市	
		41 自治功労者	本編(資料編・記述編)を配付
		42 観光大使	北島三郎、西川古柳、羽生善治、ファン・モン
		43 観光協会	
		44 学園都市文化ふれあい財団(経営管理課)	2冊(理事長用・財団用)
		45 住宅・都市整備公社	
8	その他民間機関	46 八王子市職員組合	
		47 たましん文化財団	
		48 八王子商工会議所	
		49 八王子織物工業組合	
		50 高尾山薬王院	2冊(貫主用・御山用)
		51 京王電鉄	

その他市施設) 長池公園自然館、夕焼け小焼けふれあいの里、市民活動推進センター、学園都市センター、姫木平少年自然の家、絹の道資料館、八王子城跡ガイダンス施設、道の駅滝山、戸吹スポーツ公園、あったかホール、こども科学館



内容		
流域	時代	遺跡名
本扉		
刊行にあたって		
監修のことば		
凡例		
目次		
扉 「 時代区分と流域設定について」		
本文		
扉 「 八王子市内の遺跡概要」		
旧石器時代の遺跡		
縄文時代の遺跡		
弥生時代の遺跡		
古墳時代の遺跡		
奈良・平安時代の遺跡		
コラム 遺跡とは その1		
扉 「 河川流域に見る遺跡群 谷地川・多摩川流域」		
谷地	旧石器	宇津木台
谷地	旧石器	西野
谷地	旧石器	下耕地
谷地	旧石器	石川天野
谷地	旧石器	寺前
コラム 石器の種類と機能		
谷地	縄文	戸吹
谷地	縄文	櫛谷
谷地	縄文	大町
谷地	縄文	半蔵窪
谷地	縄文	宇津木台
谷地	縄文	宇津木向原
谷地	縄文	塚場
谷地	縄文	下耕地
谷地	縄文	鶴舞
谷地	縄文	南谷
谷地	弥生	石川天野・春日台
谷地	弥生	宇津木向原・尾崎
谷地	弥生	鞍骨山
谷地	弥生	富士見町
谷地	古墳	北大谷古墳
谷地	古墳	狐塚古墳
谷地	古墳	小宮古墳
谷地	古墳	宇津木台
谷地	古墳	西野
谷地	古墳	創価大学太陽の丘
谷地	古墳	石川天野
谷地	奈・平	櫛谷
谷地	奈・平	宇津木台
谷地	奈・平	塚場
谷地	奈・平	創価大学太陽の丘
谷地	奈・平	明王下
谷地	奈・平	谷野瓦窯
コラム 関東ローム層と石器		
扉 「 河川流域に見る遺跡群 浅川・川口川流域」		
浅川	縄文	力石
浅川	縄文	狐塚

内容		
流域	時代	遺跡名
浅川	縄文	十内入東
浅川	縄文	深沢
浅川	縄文	宮田
浅川	縄文	中原
浅川	縄文	小田野
浅川	縄文	檜原
浅川	縄文	弁天橋・弁天橋西
浅川	縄文	赤根
浅川	縄文	中田
浅川	縄文	弁天池
浅川	縄文	船田
浅川	縄文	鍛冶屋敷
浅川	縄文	水崎
浅川	縄文	狭間
浅川	縄文	裏宿
浅川	縄文	辺名
浅川	縄文	落越
浅川	弥生	叶谷
浅川	弥生	犬目甲の原・中野犬目境・戸板女子短大・井戸尻上
浅川	弥生	檜原・原屋敷
浅川	弥生	中野甲の原
浅川	弥生	中田
浅川	弥生	山王林
浅川	弥生	中郷・船田
浅川	弥生	水崎
浅川	古墳	川口古墳
浅川	古墳	鹿島古墳
浅川	古墳	船田古墳
浅川	古墳	大和田横穴群
浅川	古墳	中野甲の原
浅川	古墳	西中野
浅川	古墳	ひよどり山古墳
浅川	古墳	弁天池北
浅川	古墳	中田
浅川	古墳	船田
浅川	奈・平	中野甲の原
浅川	奈・平	中田
浅川	奈・平	一丁平
浅川	奈・平	船田・中郷
浅川	奈・平	赤根
浅川	奈・平	落越
コラム	遺跡とは	その2
扉	「	河川流域に見る遺跡群 湯殿川・山田川流域」
湯殿	旧石器	小比企向原
湯殿	縄文	御所水
湯殿	縄文	神谷原
湯殿	縄文	梶田
湯殿	縄文	梶田 ・ 梶田
湯殿	縄文	館町 515
湯殿	縄文	館町
湯殿	縄文	日南田
湯殿	縄文	南八王子 13・南八王子 15

内容		
流域	時代	遺跡名
湯殿	縄文	小比企向原
湯殿	縄文	滑坂
湯殿	縄文	郷田原・南八王子 11
湯殿	縄文	大原D
湯殿	弥生	御所水
湯殿	弥生	神谷原
湯殿	弥生	梶田 ・ 梶田
湯殿	弥生	南八王子 11・郷田原
湯殿	古墳	日向四谷
湯殿	古墳	館町 515・館町
湯殿	古墳	平塚
湯殿	古墳	南八王子 3・南八王子 5
湯殿	古墳	大原A・大原D
湯殿	古墳	小比企向原・滑坂
湯殿	奈・平	梶田
湯殿	奈・平	南八王子 16
湯殿	奈・平	南八王子 38
湯殿	奈・平	下寺田
湯殿	奈・平	要石
湯殿	奈・平	下寺田西
湯殿	奈・平	日南田
湯殿	奈・平	龍見寺経塚
湯殿	奈・平	時田
湯殿	奈・平	館町第6地点・館町 515
湯殿	奈・平	打越中谷戸
湯殿	奈・平	打越大畑
湯殿	奈・平	打越小ザス
湯殿	奈・平	御殿山窯跡群
コラム	遺跡とは	その3
扉	「	河川流域に見る遺跡群 大栗川流域」
大栗	旧石器	多摩NT 309
大栗	旧石器	多摩NT 213
大栗	旧石器	多摩NT 167
大栗	旧石器	多摩NT 301
大栗	旧石器	多摩NT 113
大栗	旧石器	多摩NT 166
大栗	旧石器	多摩NT 388・389
大栗	旧石器	多摩NT 125・126
大栗	旧石器	多摩NT 402
大栗	旧石器	多摩NT 401
大栗	旧石器	多摩NT 396
大栗	旧石器	多摩NT 512
大栗	旧石器	多摩NT 72
大栗	旧石器	多摩NT 421
大栗	縄文	多摩NT 309
大栗	縄文	多摩NT 426
大栗	縄文	多摩NT 796
大栗	縄文	多摩NT 116
大栗	縄文	多摩NT 125・126
大栗	縄文	多摩NT 237・962
大栗	縄文	多摩NT 304
大栗	縄文	多摩NT 113

内容		
流域	時代	遺跡名
大栗	縄文	多摩NT 432
大栗	縄文	多摩NT 358
大栗	縄文	多摩NT 406
大栗	縄文	多摩NT 145
大栗	縄文	多摩NT 300
大栗	縄文	多摩NT 107
大栗	縄文	多摩NT 72
大栗	縄文	多摩NT 446
大栗	縄文	多摩NT 67
大栗	弥生	多摩NT 846
大栗	弥生	多摩NT 421
大栗	古墳	多摩NT 446
大栗	古墳	多摩NT 327・329・330
大栗	古墳	多摩NT 556
大栗	奈・平	多摩NT 325
大栗	奈・平	多摩NT 219
大栗	奈・平	多摩NT 304
大栗	奈・平	多摩NT 178
大栗	奈・平	多摩NT 241
大栗	奈・平	多摩NT 125
大栗	奈・平	多摩NT 107
大栗	奈・平	多摩NT 387・388・389
大栗	奈・平	多摩NT 446
大栗	奈・平	多摩NT 436
大栗	奈・平	多摩NT 424
大栗	奈・平	多摩NT 426
大栗	奈・平	多摩NT 390・391
大栗	奈・平	多摩NT 836
大栗	奈・平	多摩NT 419・420・421
大栗	奈・平	白山神社経塚群
大栗	奈・平	大塚
大栗	奈・平	大法寺裏
大栗	奈・平	百草・和田1号窯
コラム 土器と陶磁器		
コラム扱い 保存公開遺跡の案内		
コラム 年代と地域によって変わる土器の形		
扉 「資料」		
八王子市出土文字資料一覧		
参考文献一覧		
八王子市遺跡一覧		
八王子市遺跡名一覧(50音順)		
協力者一覧		
執筆分担一覧		
八王子市史編さん関係者名簿		
編集後記		
奥付		

付図



## 『新八王子市史 資料編3 近世1』の章立て・目次案

章	章名称	節	節名称	項	項名称
1	近世八王子の町と市	1	八王子町の成立と構造	1	八王子町の成立と支配
1		2		八王子町の構造	
1		2		八王子市の仕組み	
1		2		市をめぐる宿内の争論	
1		2		市運上をめぐる争論(三河屋一件)	
1		2		府中宿市立出願一件	
1		2		市をめぐる取極と争論	
1		2		文政元年八王子市場一件	
1	町の住民と生業	2	町の住民と生業	6	縞買仲間の取極
1		2		八王子市の機能	
1		2		市運上	
1		3		1	米穀問屋
1		3		2	青物関係
1		3		3	肴仲買関係
1		3		4	質屋関係
1		3		5	古着・古鉄買
1		3		5	酒醤油関係
1		3		6	相撲渡世
1		3		7	湯屋
1		3		8	番小屋
1	天保の飢饉と災害・事件	4	天保の飢饉と災害・事件	1	天保の飢饉と八王子町
1		4		2	火災・災害
1		4		3	盗難その他事件
1	町機能維持施設	5	町機能維持施設	1	時の鐘
1		5		2	用悪水
1		5		3	消防
1	町の神社と祭礼	6	町の神社と祭礼	1	八幡・天王社 多賀神社
1		6		2	十夜
1		6		3	市神稻荷
1	(甲州道中と八王子)	7	八王子宿の機構と構造	1	八王子宿の概要と仕組み
1		8		1	宿を往来する人
1		8		2	往来する物
1		8		3	宿役人とその役割
1		8		4	宿助成金・拝借金
1		8		5	駄賃・人足賃
1		8		6	高札その他
1	本陣・旅籠屋	9	本陣・旅籠屋	7	浅川川越
1		9		1	本陣
1		9		2	旅籠屋
1		9		3	料理人
1	助郷 = 宿駅を支える村々	9	助郷 = 宿駅を支える村々	4	飯売女(飯盛女)取締り
1		10		10	助郷 = 宿駅を支える村々
1		11		11	助郷 = 宿駅を支える村々
1	甲州道中駒木野宿・小仏宿	11	甲州道中駒木野宿・小仏宿	1	駒木野宿・小仏宿の概要
1		11		2	宿駅助成金・拝借金
1		11		3	伝馬役・助郷
1		11		4	関所(小仏関)
1		11		5	佐野川往還(陣馬街道)
2	八王子を支配した領主	1	領主の特徴-幕領・旗本領の錯綜と相給支配	1	初期代官
2		1		2	山之根九万石村高改帳
2		1		3	旗本知行所郷村高帳
2		1		4	御鷹部屋

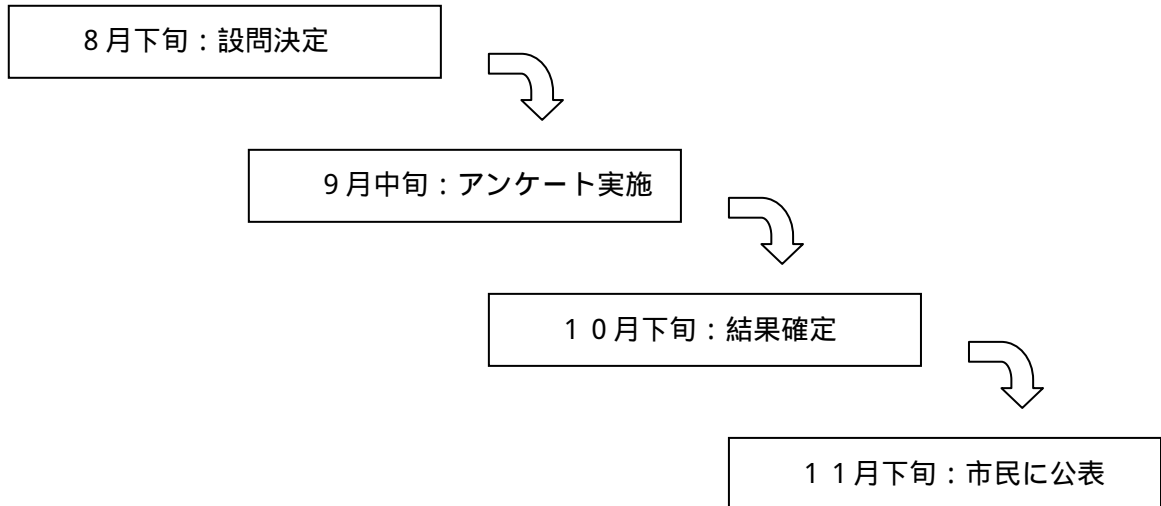
章	章名称	節	節名称	項	項名称
2		2	検地		
2		3	年貢徴収法と年貢諸役	1	年貢徴収法
2		3		2	年貢割付状と皆済目録
2		3		3	様々な負担
2		4	年貢諸役をめぐる争論-検見・定免の減免	1	定免破毀をめぐる門訴一件
2		4		2	東照宮由諸にもとづく諸役免除要求
2		5	幕府広域支配と改革組合村	1	鉄砲改
2		5		2	改革組合村以前
2		5		3	改革組合村
2		6	御林山	1	反別等改
2		6		2	手入れ、伐り出し
2		6		3	用木の下付
2		6		4	材木売り払い、入札
2		6		5	下草の利用
2		6		6	御用炭焼出
2		7	代官が支配する村	1	(未称)
2				2	寛政期
2				3	天保期
2				4	(未称)
2		8	旗本領主を支える村	1	旗本家の財政窮乏と家政改革
2				2	先納年貢・御用金・調達金の負担
2				3	勝手賄い
2				4	地頭と知行地(儀礼・屋敷奉公・武家奉公人)
3	八王子の村々	1	村のすがたとしくみ	1	十七世紀の村方騒動
3				2	近世村落の成立
3				3	村の運営
3				4	村の掟
3		2	村のくらし	1	村人の誕生と成長
3				2	家の相続と家族
3				3	村人の病・死・先祖供養(病気)
3				4	村のつきあい・村の事件
3		3	村の変化	1	土地売買・質地
3				2	地主の成長と零細百姓の増加
3				3	質地小作・地主小作関係と争論
3		4	頻発する争論 村の秩序の変化	1	十八世紀の村方騒動
3				2	徒党
3				3	用水
3				4	山論・入会
3		5	自然との闘い	1	害獣と農林業
3				2	自然災害 - 洪水・大風・山崩れと復旧工事
3		6	凶作・飢饉との闘い	1	凶作・飢饉の実態
3				2	飢饉対策 幕府と村(貯蓄・囲い米)
3				3	天保の飢饉と八王子
3		7	生活の窮乏と救済	1	窮乏化と救済(領主への要求)
3				2	窮乏の打開策 永続飢饉・相続講積立仕法

参考 資料編4近世2の章立て・目次案

章	章名称	節	節名称	項	項名称
4	八王子千人同心				
5	八王子の諸生業(養蚕・生糸・織物以外)				
6	養蚕・生糸・織物				
7	信仰と文化				
8	幕末維新と八王子				

## 市政モニターへの設問の基本的な考え方及び設問項目

### 1. スケジュール



### 2. 基本的な考え方

- ・以下の項目を柱に展開する。
  - (1) 市史編さん事業の周知度
  - (2) 歴史・民俗・自然への関心、『新八王子市史』への期待・提案
  - (3) 市史編さん事業とまちづくりの関係
  - (4) 刊行物販売推進のための参考項目
  - (5) 資史料の保存と活用への意見
  - (6) その他の自由意見

3. 設問項目(案)

(1) 市史編さん事業の周知度

1. 八王子市が平成 28 年に市制施行 100 周年を迎えることを知っていますか。

知っている

知らない

2. 市制施行 100 周年の記念事業として、市史編さん事業を進めていることを知っていますか。

知っている

【何で知りましたか：広報はちおうじ 市のホームページ 市史刊行物  
稲荷山通信 その他( )】

知らない

3. 市史編さん事業の一環として実施している講座や活動に参加したことがありますか。

参加したことがある

【何に参加しましたか：いちょう塾 市民講座 野鳥観察会  
調査活動への協力 その他( )】

参加したことはないが、関心はある

【何に関心がありますか：いちょう塾 市民講座 野鳥観察会  
調査活動への協力 その他( )】

参加・関心ともない

4. 市史編さん室だより『稲荷山通信』を読んだことがありますか。

ある

ない

(2) 歴史・民俗・自然への関心、『新八王子市史』への期待・提案

1. 八王子の歴史に関心がありますか。

ある

【特に関心の深い時代やジャンルがあれば、具体的にお書きください。】

( )

ない

2. これまでに旧「八王子市史」(昭和38～43年刊行)、「八王子市議会史」,  
「八王子千人同心史」,「八王子の戦災と空襲の記録」が刊行されているこ  
とを知っていますか。

読んだことがある

【それは何ですか：旧「八王子市史」 「八王子市議会史」  
「八王子千人同心史」 「八王子の戦災と空襲の記録」】

読んだことはないが、知っている

【それは何ですか：旧「八王子市史」 「八王子市議会史」  
「八王子千人同心史」 「八王子の戦災と空襲の記録」】

知らない

3. 『新八王子市史』に対する期待や、『新八王子市史』で取り上げて欲しい  
事柄や史料等があればお書きください。

(3) 市史編さん事業とまちづくりの関係

八王子のまちづくりについて、あなたの考えに一番近いものをお選びください。

1. 八王子の自然・歴史・文化をよく理解し、伝統を生かしたまちづくりを進めることで、八王子の魅力をアピールすることができると思う。

とてもそう思う

どちらかと言えばそう思う

あまりそうは思わない

2. 地域コミュニティ育成のためには、地域の歴史・文化を知り、共有することが大切だと思う。

とてもそう思う

どちらかと言えばそう思う

あまりそうは思わない

3. まちづくりの市民参加を進めるためには、市民が地域のことを知り、学ぶことができることが大切だと思う。

とてもそう思う

どちらかと言えばそう思う

あまりそうは思わない

4. 今回の市史編さん事業は、市民自らが行うまちづくりに役立てることを目的の一つとしています。そのことについて、あなたが期待することや思うことを何でも自由にお書きください。

(4) 刊行物販売推進のための参考項目

1. 『新八王子市史』を購入する意思はありますか。

購入したい

【購入したいものすべてに をお付けください】

	本 編	資料編
原始・古代		
中世		
近世		
近現代		
自然		
民俗		

購入しない

わからない

2. 『新八王子市史』を購入するにあたり、1冊あたりいくらまでなら購入しますか。

～1,000円

1,000円～3,000円

3,000～5,000円

5,000円以上でも

3. 販売場所について、どこを望みますか

市政資料室(市役所本庁舎)

八王子駅南口総合事務所

郷土資料館

市史編さん室(旧稲荷山小学校)

書店

その他

4. 八王子市市史編さん事業による刊行物を持っていますか。

持っている

【それは何ですか：八王子市史研究創刊号 八王子市史研究第2号  
村明細帳集成 恩方の民俗 資料編5近現代1】

持っていないが、知っている

【それは何ですか：八王子市史研究創刊号 八王子市史研究第2号  
村明細帳集成 恩方の民俗 資料編5近現代1】

持っていない

( 5 ) 資史料の保存と活用への意見

市史編さん事業終了後の資史料の保存と活用について、市では、市民共有の貴重な財産として、専門施設（公文書館や総合情報館など）の整備も視野にいれながら、その保存・活用方法について検討しています。皆様のご意見・ご要望をお聞かせください。

( 6 ) その他の自由意見

その他、ご意見・ご要望があればお書きください。



## 1. 「広報はちおうじ」8月1日号で市史編さんの特集記事を掲載

「広報はちおうじ」8月1日号で、市史編さん事業の特集が表紙から3ページまで組まれました。各部会の活動の様子や刊行計画が紹介されています。

## 2. 市史編さん職員研修の開催

市史編さん事業では、八王子の自然や歴史に関するさまざまな資料を収集し調査・研究を進めていますが、その中には、現在、そして今後のまちづくりを考えるうえで役に立つ情報が多く含まれています。そこで、市史編さん事業における成果を職員と共有し、今後のまちづくりに資するとともに、市史編さん事業の周知を図ることを目的に職員研修を開催しました。

日時 平成24年8月9日(木)午後1時30分～3時30分

テーマ 『大正時代の八王子 - 市制施行から大八王子建設へ - 』

講師 八王子市市史編集専門部会近現代部会委員 梅田 定宏 氏

参加職員数 87名

## 3. 刊行物アンケートはがきを作成

市史編さんの刊行物の読者アンケートを実施するため、アンケートはがきを作成しました。すべての市史編さんの刊行物に差し込むとともに、いただいたアンケート結果を市史編さん事業に活かしていきます。

## 4. 調査協力者に対するお礼の品の作成

市史編さん事業の調査協力者に対するお礼の品として、「ミニ手拭い」と「しおり」をそれぞれ100ずつ作成しました。これらの品は障害者の団体に作成していただきました。今後も品物を変えながら継続していきます。

## 5. 市民講座の開催

今年度の市民講座は「大地に刻まれた八王子の原始・古代」と題して、原始・古代部会に担当をお願いし、裏面チラシのとおり開催します。

## 6. いちょう塾への講座提供

部会の皆様の協力を得て、今秋も「いちょう塾」に下記講座を提供します。

期日	時間	テーマ	講師(敬称略)
9/29(土)	15:20	八王子の生き物栄枯盛衰 ～生物多様性とは何か～	自然部会委員 須田 孫七
11/10(土)	16:50	古事記1300年を活かし、神話のふるさと出雲へ ～神話から歴史へ・歴史から神話へ、～	原始・古代部会長 関 和彦

## 7. 学生ボランティアの活用・インターンシップの受入

8月～9月にかけて3期に分けて、東京工科大学の学生11名が資料整理等のボランティアを実施します。また、9月中旬に早稲田大学大学院生1名がインターンシップを行います。